

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

そだちネットワーク部会 第3回

開催日時 2024年9月6日(金)

15:30~17:00

参加者所属機関名等 飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村
野沢温泉村・栄村・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

(1) 全体共有 (2) 各WG活動

会議で話し合われた事

(1) 全体共有

- ・発達障害支援フォーラム委員会より(事務局) [それぞれの領域の撮影を進めている](#)
- ・飯山養護・スキルアップ研修会の報告(飯山養護学校)
6月『摂食について』 7月31日(水)『子供の行動の理解』 校外30名の参加 環境作りの大切さを実感
8月『ICT活用に向けての自立活動の授業づくり』 9/10 「性教育」 12/13 「自己決定」
- ・発達障がい支援関係者研修会についての報告(北信保健福祉事務所)
7月19日(金) 『なぜこの子は言うことを聞かないのか? ~Q&Aで学ぶ子どもへの声掛け~』
信州大学学術研究院教育学系 高橋 史 氏 申し込み者100名
 - ・上手く行かないときは、大人同士のコミュニケーションや大人の余力が必要
 - ・前向きなアンケートが多く、会の目的だったみんなが元気になるという所は上手く行った。
- ・長野県自立支援協議会療育部会の報告(療育Co)
 - ・インクルージョンの取り組みの共有、ここでできることの安心感
 - ・もともと居るべき場所の大切さのアセスメントを行うことが逆行現象を起こさない理由に繋がる
- ・児童発達支援センター みらいく の近況について(療育Co)
 - ・放課後デイサービス、・保育所等訪問 + 児童発達支援事業8月開始。相談支援事業も今後予定

(2) ワーキンググループ活動

- 柱1: 子どもの支援WG 目的: 子どもが適切な支援を受ける事で、その子らしさを発揮できる
 - ・教育委員会として就学相談に関わっているメンバーが多いので、資料を見ながら伝え方の方法の共有
 - ・就学の判断や合意形成の難しさについて事例を通して共有
 - ・合理的配慮をして就学判断と異なる学級判断が増加する中、就学判断は
- 柱2: 家族の支援WG 目的: 家族がその子のいいところも苦手な所もありのままに受け入れて子育てができる
 - ・家族支援で困っていること、相談、連携や悩み等カテゴリー化し、事例を挙げて共有した
 - ・支援者側で当たり前になっていること、子育てについて
 - ・ハイリスクではない、共通する子育てのスキルを考えていく、チラシ作成
- 柱3: ネットワーク充実WG
目的: ~子どもと親が安心して生活するために~支援者が繋がってチームを作っていくとき、どうしたらいいか分かる
 - ・Q-SACCS 各市町村ともに学齢期までは体制が整備されてきたが、16歳以上はこれからだという気づきが共有できた。

(3) その他 今後の日程について

- ・第4回 令和6年 11月15日(金) 飯山市木島地区活性化センター
- ・第5回 令和7年 1月24日(金) 飯山市木島地区活性化センター →部会長の飯山養護宮下校長が参加できる日を再調整する

[第5回 2/19水 で満場一致。しかし木島活性化センターは予約が入っていて使用できず。飯山養護学校の体育館の会場を利用する方向で](#)